

Panasonic®

取扱説明書 基本操作編 デジタルカメラ

安全上の
ご注意

品番 DMC-FZ200

準備

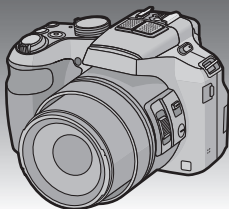
撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(37～43ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本機の使い方や使用上のお願いなど詳しい操作説明は、本機のCD-ROM(付属)に記録された「取扱説明書 詳細操作編」(PDFファイル)に記載されています。

- パソコンにコピーしてお読みください。コピーのしかたは3ページをお読みください。

保証書別添付

AVCHD™
Progressive

HDMI

3D

SD™
XC I

DOLBY
DIGITAL



VQT4J56
F0712MG0
(5600 A)

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(37～43ページ)

準備

取扱説明書(PDF形式)を読む	3
ご使用の前に	4
付属品	5
各部の名前	6
レンズキャップを付ける	8
ショルダーストラップを付ける	8
レンズフードを付ける	9
バッテリーを充電する	10
バッテリーを入れる	10
カード(別売)を入れる	11
本機で使えるカードの種類	11
電源を入れて時計を設定する	12
時計設定を変更する	12

撮る・見る

撮る	13
撮影モードを選ぶ	15
写真・動画を撮る	16
後ダイヤルを使う	17
露出を補正する	17
絞り値・シャッタースピード を調整する	18
サイドレバーを使う	19
カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオート モード)	20
インテリジェント オートプラスモードを 使って撮る	21

画像効果を変えて撮る (クリエイティブ コントロールモード)	22
見る	23
写真・動画を見る	24
画像を消去する	24

メニュー設定

メニューを設定する	25
メニュー一覧	26

パソコンとの接続

付属のソフトウェアを使う	30
ソフトウェアを インストールする	31

その他

別売品のご紹介	32
仕様	33
保証とアフターサービス (よくお読みください)	44

取扱説明書(PDF形式)を読む

安全上の
注意

本機操作の詳細については、CD-ROM(付属)の「取扱説明書 詳細操作編」に記載されています。パソコンにコピーしてお読みください。

■ Windowsの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる
- 2 インストールメニューが表示されたら、[取扱説明書]をクリックする
- 3 [日本語]が選ばれている状態で、[取扱説明書]をクリックしてコピーする
- 4 デスクトップの[取扱説明書]のショートカットアイコンをダブルクリックして開く

準備

■ 取扱説明書(PDF形式)が開けないときは

取扱説明書(PDF形式)を閲覧・印刷するためには、Adobe Acrobat Reader 5.0以降、またはAdobe Reader 7.0以降が必要です。

お使いのパソコンにインストールされていない場合は、CD-ROM(付属)を入れ、[Adobe Reader]をクリックしたあと、画面のメッセージに従って進み、インストールしてください。

(対応OS: Windows XP SP3/Windows Vista SP2/Windows 7)

- Adobe Readerは、下記のサイトからダウンロードすることもできます。
<http://get.adobe.com/jp/reader/otherversions/>

撮る・見る

メニュー
設定

■ 取扱説明書(PDF形式)をアンインストールするには

"Program Files¥Panasonic¥Lumix¥" フォルダ内のPDFファイルを削除してください。

パソコン
の接続

■ Macの場合

- 1 パソコンの電源を入れ、CD-ROM(付属)を入れる
- 2 CD-ROMの「Manual」フォルダを開き、言語フォルダの中のPDFファイルをコピーする
- 3 PDFファイルをダブルクリックして開く

その他

「取扱説明書 詳細操作編」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて…

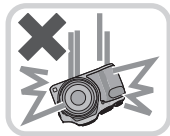
本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズや液晶モニター、外装ケースが破壊される可能性があります。
また誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - ・ 本機を落とす、またはぶつける
 - ・ レンズ部や液晶モニターを強く押さえつける
- 持ち運ぶときや再生するときは、レンズを収納した状態でお使いください。
- 本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動であり故障ではありません。

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

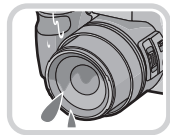
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物が入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
 - ・ 砂やほこりの多いところ
 - ・ 雨の日や浜辺など水がかかるところ



■ 露付きについて(レンズやファインダーが曇るとき)…

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズ汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。



■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください








あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品



付属品をご確認ください。

記載の品番は2012年7月現在のものです。変更されることがあります。

<input type="checkbox"/>  バッテリーパック DMW-BLC12 (本文中ではバッテリーと表記します) ●充電してからお使いください。	<input type="checkbox"/>  バッテリーチャージャー※ DE-A79A (本文中ではチャージャーと表記します)
<input type="checkbox"/>  レンズフード VYQ7878	<input type="checkbox"/>  レンズキャップ レンズキャップひも VYQ5607
<input type="checkbox"/>  ショルダーストラップ VFC4453	<input type="checkbox"/>  USB接続ケーブル K1HY08YY0025
<input type="checkbox"/>  CD-ROM ●ソフトウェア ●取扱説明書 詳細操作編 (パソコンにインストールしてお使いください)	

※ 予備のチャージャーを購入されるときは、別売品のバッテリーチャージャー (DMW-BTC6)をお買い求めください。

- カードは別売です。カードを挿入していない場合は、内蔵メモリーで画像の記録や再生ができます。
- 別売品については32ページを参照してください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

CLUB Panasonic

Pana Sense



付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお
買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

安全上の
ご注意

準備

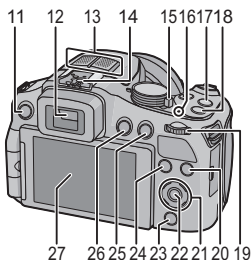
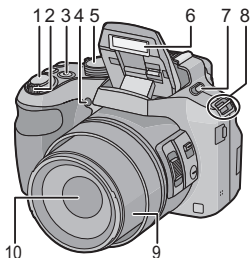
撮る・見る

メニュー
設定

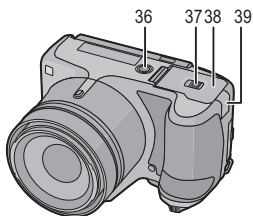
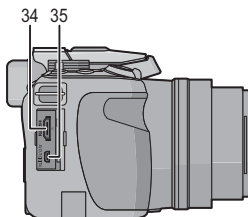
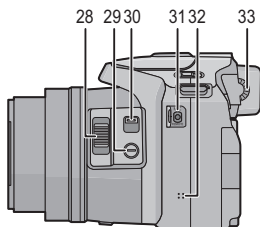
パソコン
との接続

その他

各部の名前



- 1 シャッターボタン(P16)
- 2 ズームレバー(P13,23)
- 3 動画ボタン(P16)
- 4 セルフタイマーランプ / AF 補助光
- 5 モードダイヤル(P15)
- 6 フラッシュ発光部
- 7 フラッシュ OPEN レバー (P13)
- 8 ショルダーストラップ取り付け部(P8)
 - 落下防止のため、必ずストラップを取り付けてご使用ください。
- 9 レンズ鏡筒
- 10 レンズ部(P4)
- 11 [EVF/LCD] ボタン(P14)
- 12 ファインダー
- 13 ステレオ MIC
- 14 ホットシュー
- 15 電源スイッチ(P12)
- 16 電源ランプ
- 17 [] (連写) ボタン(P13)
- 18 [Fn1] ボタン(P13)
- 19 後ダイヤル(P17)
- 20 [DISP.] ボタン(P14,23)
- 21 カーソルボタン(P14,23)
 - 本書では、カーソルボタンの上下左右を押す操作を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。
- 22 [MENU/SET] ボタン(P14,23)
- 23 [Q.MENU] ボタン(P14)/ [] (消去/戻る) ボタン(P23)
- 24 [Fn3] ボタン(P14)
- 25 [AF/AE LOCK] ボタン / [Fn2] ボタン(P14)
- 26 [] (再生) ボタン(P24)
- 27 液晶モニター



- 28** サイドレバー(P19)
フォーカス
- 29** [FOCUS] ボタン(P13)
- 30** フォーカス切換スイッチ(P13)
- 31** [MIC/REMOTE] 端子
マイク リモート
- 32** スピーカー
- スピーカーを指で塞がないようお気をつけください。音が聞こえにくくなります。
- 33** 視度調整ダイヤル
- 34** [HDMI] 端子
アウト デジタル
- 35** [AV OUT/DIGITAL] 端子
- 36** 三脚取り付け部
- ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、本機を傷つける場合があります。
- 37** 開閉レバー(P10、11)
- 38** カード/バッテリー扉(P10、11)
- 39** DCカプラー扉
- ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC8)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。

安全上の
注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

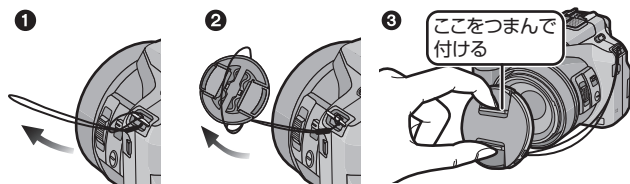
パソコン
との接続

その他

レンズキャップを付ける

電源スイッチを[OFF]にしているときや持ち運びするときは、レンズ面の保護のため、レンズキャップを取り付けてください。

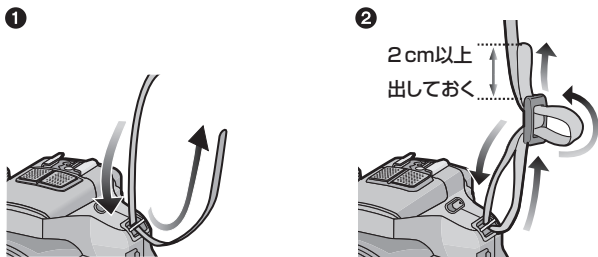
- 1 カメラにレンズキャップひもを通す
- 2 レンズキャップにひもを通す
- 3 レンズキャップを付ける
 - 電源[ON]時は、必ずレンズキャップを外してください。



ショルダーストラップを付ける

落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

- 1 ショルダーストラップ取り付け部に通す
- 2 留め具に通して留める
 - ねじれないようにもう片方にも付けてください。



レンズフードを付ける

安全上の
ご注意

日差しが強い中、逆光時のゴーストやフレアを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮れます。

- 電源スイッチが [OFF] になっていることを確認する。
- フラッシュを閉じる。

- 1 レンズフードの短い方を本機底部に合わせて挿入する
- 2 レンズフードを矢印の方向に回す
- 3 いったんマークの手前で止まりますが、マークが合う位置まで回す
 - “カチッ”と音がして止まります。

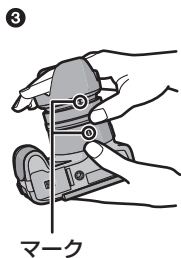
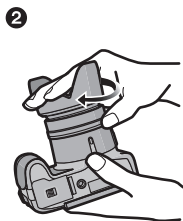
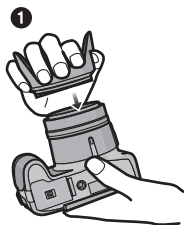
準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他



お知らせ

- レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。
- レンズフードを一時的に外して運ぶ場合は、向きを逆にして取り付けてください。撮影時は元の向きに付け直してください。

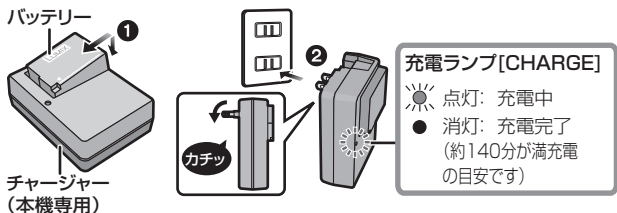


バッテリーを充電する

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 充電は周囲の温度が 10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

1 チャージャーにバッテリーを取り付ける

2 電源プラグをカチッと音がするまで起こして、電源コンセントへ差し込む

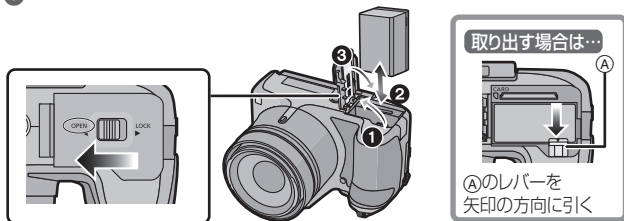


バッテリーを入れる

1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて扉を開く

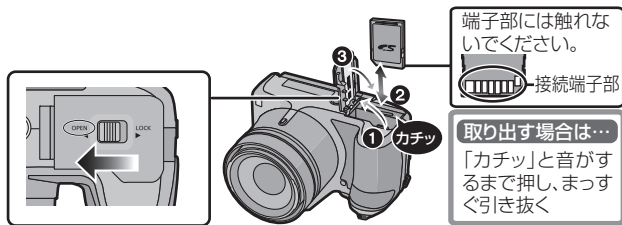
2 向きに気をつけて、ロック音ができるまで確実に奥まで挿入し、バッテリーに①のレバーがかかっていることを確認する

3 扉を閉じて、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる



カード(別売)を入れる

- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドさせて扉を開く
- 2 向きに気をつけて、「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる
- 3 扉を閉じて、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドさせる



本機で使えるカードの種類

	備考
SDメモリーカード (8 MB~2 GB)/ miniSDカード※1/ microSDカード※1	<ul style="list-style-type: none">● 動画撮影の際は、SDスピードクラス※2が「Class4」以上のカードを使用してください。● SDHCメモリーカードは、SDHCメモリーカードまたはSDXCメモリーカード対応機器で使用できます。● SDXCメモリーカードは、SDXCメモリーカード対応機器でのみ使用できます。● SDXCメモリーカードをお使いの場合は、パソコンなどが対応しているかご確認ください。 http://panasonic.jp/support/sd_w/● 本機は UHS-I 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。● 左記の容量以外のカードは使えません。
SDHCメモリーカード (4 GB~32 GB)/ microSDHCカード※1	
SDXCメモリーカード (48 GB, 64 GB)	

※1 本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

※2 SDスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

(例) CLASS **4** **4**

- 最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/dsc/>

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
の接続

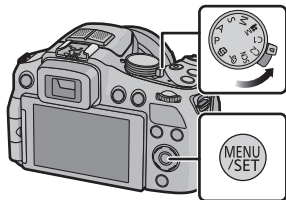
その他

電源を入れて時計を設定する

- お買い上げ時は、時計設定されていません。
電源を入れると、「時計を設定してください」が表示されます。

1 電源スイッチを [ON] にする

2 [MENU/SET] を押す



3 ◀/▶ で合わせたい項目(年・月・日・時・分・表示順・時刻表示形式)を選び、▲/▼で設定する



4 [MENU/SET] を押して決定する

5 [MENU/SET] を押す

時計設定を変更する

1 [MENU/SET] を押してメニュー画面を表示する

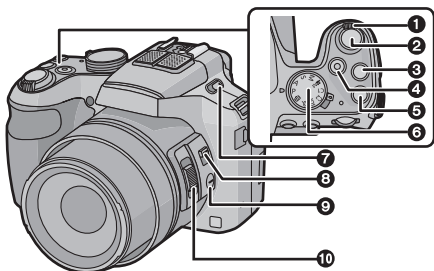
2 ◀を押す

3 ▲/▼でセットアップメニューアイコン [] を選び、▶を押す

4 ▲/▼で [時計設定] を選び、▶を押す

- 時計設定画面が表示されます。

撮る



安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定


パソコン
との接続

その他

① ズームレバー	[W] 側: 広く撮ります。(広角) [T] 側: 大きく撮ります。(望遠)
② シャッターボタン(P16)	写真を撮影します。
③ 連写ボタン	連写設定画面を表示します。
④ 動画ボタン(P16)	動画を撮影します。
⑤ [Fn1] ボタン	割り当てた機能呼び出します。 ●お買い上げ時はフォトスタイル設定画面を表示します。
⑥ モードダイヤル(P15)	撮影モードを切り換えます。
⑦ フラッシュ OPENレバー	フラッシュが開きます。 ●閉じるときはフラッシュの先端付近を押して閉じてください。
⑧ フォーカス切換スイッチ	AF: 自動でピントを合わせたいとき。 AF  : 自動でピントを合わせ、被写体に近づいて撮影したいとき。 MF: 手でピントを合わせたいとき。
⑨ [FOCUS] ボタン	AF エリア枠の調整画面を表示します。 (オートフォーカスモードを  に設定時) 自動でピント合わせを行います。 (動画撮影時/フォーカス切換スイッチを [MF] に設定時)
⑩ サイドレバー(P19)	ズーム操作またはピント合わせを行います。

撮る(続き)

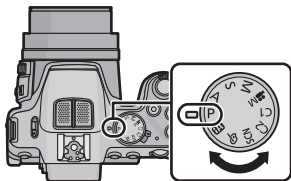


11 [EVF/LCD] ボタン	液晶モニターとファインダーを切り換えます。
12 再生ボタン	撮影と再生を切り換えます。
13 後ダイヤル(P17)	露出を補正したり、絞り値・シャッタースピードを調整したりします。
14 [AF/AE LOCK] ボタン/ [Fn2] ボタン	ピントや露出を固定 (AF/AE ロック) したり、割り当てた機能呼び出ししたりします。 ●お買い上げ時は AF/AE ロックに設定されています。
15 [Fn3] ボタン	割り当てた機能呼び出します。 ●お買い上げ時は AFスタイル設定画面を表示します。
16 [DISP.] ボタン	押すごとに画面の表示を切り換えます。
17 [MENU/SET] ボタン (P25)	メニュー画面を表示します。
18 カースル ボタン	 <p>▲: ISO感度設定画面を表示します。 ▼: セルフタイマー設定画面を表示します。 ◀: オートフォーカスモード設定画面を表示します。 ▶: ホワイトバランス設定画面を表示します。</p>
19 [Q.MENU] ボタン	一部のメニューを簡単に呼び出します。

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。



■ 撮影モード一覧

iA	インテリジェントオートモード	カメラにおまかせで撮影します。
P	プログラムAEモード	お好みの設定で撮影します。
A	絞り優先AEモード	絞り値を決めて撮影します。
S	シャッター優先AEモード	シャッタースピードを決めて撮影します。
M	マニュアル露出モード	絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。
M	クリエイティブ動画モード	マニュアル操作で動画を撮影します。
C1 C2	カスタムモード	あらかじめ登録しておいた設定で撮影します。
SCN	シーンモード	撮影シーンに合わせて撮影します。
🎨	クリエイティブコントロールモード	画像効果を確認しながら撮影します。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

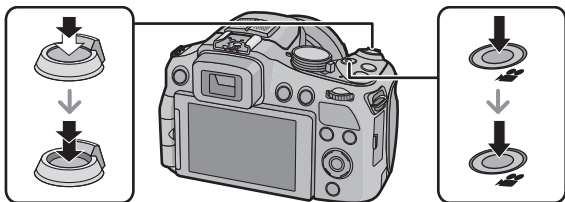
メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

撮る(続き)

写真・動画を撮る



- 1 撮影モードを選ぶ(P15)
- 2 撮影する

写真撮影	動画撮影
<p>フォーカス表示</p> <p>AFエリア</p>	<p>記録経過時間 記録動作表示</p> <p>記録可能時間</p>

- 1 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる
- 2 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する

- 1 動画ボタンを押して撮影を開始する
- 2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

お知らせ

- [MP4]で1つの動画として連続記録できる時間は29分59秒まで、ファイルサイズは4GBまでです。記録できる時間は、画面で確認できます。
([MP4]の[FHD]では、ファイルサイズが大きくなるため、記録できる時間は29分59秒より短くなります)

後ダイヤルを使う

後ダイヤルを使って露出を補正したり、絞り値・シャッタースピードを調整したりすることができます。撮影モードによって調整できる項目は異なります。

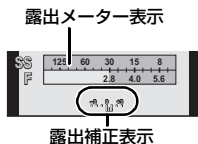
露出を補正する

使えるモード： **P** **A** **S** **M**  **C1** **C2** **SCN** 

- 1 露出補正操作が有効になるまで後ダイヤルを押す



- 2 後ダイヤルを回して露出を補正する



お知らせ

- 露出を補正しない場合は、“0”に設定してください。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

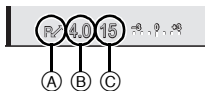
その他

後ダイヤルを使う (続き)

絞り値・シャッタースピードを調整する

1 後ダイヤルを押して設定したい項目を選ぶ

- 後ダイヤルを押すごとに、有効な操作が切り換わります。



Ⓐ: プログラムシフト (撮影モード: **P**)

同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。

- シャッターボタンを半押しして、絞り値とシャッタースピードが表示されると設定できます。

Ⓑ: 絞り値 (撮影モード: **A**・**M**)

大きい値にすると背景までピントを合わせることができます。
小さい値にすると背景をぼかすことができます。

Ⓒ: シャッタースピード (撮影モード: **S**・**M**)

速くすると動きを止めて撮影できます。
遅くすると動きを表現した撮影ができます。

2 後ダイヤルを回して設定する

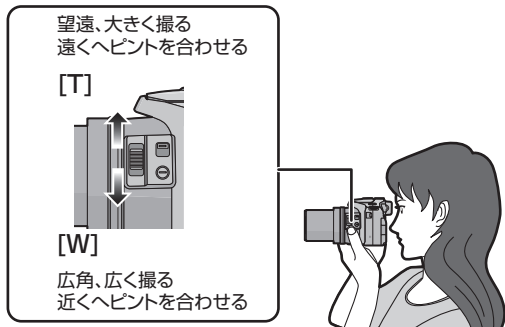
サイドレバーを使う

サイドレバーを使ってズーム操作やピント合わせをすることができます。
ファインダー撮影時に便利な機能です。

1 セットアップメニューの[サイドレバー設定]を設定する (P25)

設定	設定内容
[ZOOM]	サイドレバーを使って、ズーム操作ができます。
[FOCUS]	マニュアルフォーカス設定時： ピント合わせの操作ができます。 オートフォーカス設定時： シャッターボタンを半押ししている間、ピントを微調整 することができます。

2 サイドレバーを動かす



お知らせ

- お買い上げ時は[サイドレバー設定]は[ZOOM]に設定されています。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

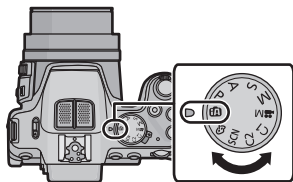
その他

カメラにおまかせで撮る

(インテリジェントオートモード)

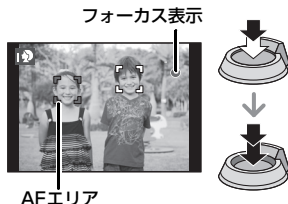
被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときや初心者にお勧めです。

1 モードダイヤルを[A]に合わせる



2 撮影する

- 顔認識機能により、顔に合わせてAFエリアが表示されます。その他の場合は、ピントの合ったところにAFエリアが表示されます。



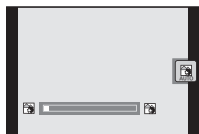
■ ボケ味コントロール機能を使う

背景のボケ具合を画面で確認しながら簡単に設定することができます。

1 後ダイヤルを押して、[A]を表示させる

2 ◀/▶ または後ダイヤルで調整する

- [左向き/右向き]を押すと、設定した値が初期設定(AUTO)に戻ります。
- カメラにおまかせで自動調整する場合は、設定を初期設定(AUTO)に戻してください。



3 [MENU/SET] または後ダイヤルを押して、決定する

インテリジェントオートプラスモードを使って撮る

インテリジェントオートモードに明るさと色合いの調整機能を加えたモードです。

1 インテリジェントオートモード時に [MENU/SET] を押す

2 ▶で [iA] を選び、[MENU/SET] を押す



■ 明るさや色合い、背景のボケ具合を調整する

1 後ダイヤルを押して、調整項目を表示する

2 ▲/▼で調整する項目を選ぶ

[]: 明るさを調整できます。

[]: 背景のボケ具合を調整できます。

[]: 色合いを調整できます。

3 ◀/▶を押す、または後ダイヤルを回して調整する

- [/▶]を押すと、設定した値が初期設定(AUTO)に戻ります。

4 [MENU/SET] または後ダイヤルを押して決定する

画像効果を変えて撮る

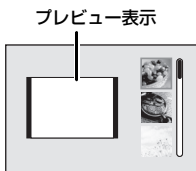
(クリエイティブコントロールモード)

画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを [] に合わせる

2 ▲/▼で作例写真から画像効果(フィルター)を選び、[MENU/SET]を押す

- 選んだ作例写真の画像効果が、プレビュー表示に反映されます。
- [DISP.]を押すと、選択されている画像効果の説明が表示されます。




■ 画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。


1 後ダイヤルを押して、調整項目を表示する

2 ▲/▼で調整する項目を選ぶ



- 調整できる項目は、選択しているクリエイティブコントロールにより異なります。

[]: 明るさを調整できます。

[]: 背景のポケ具合を調整できます。

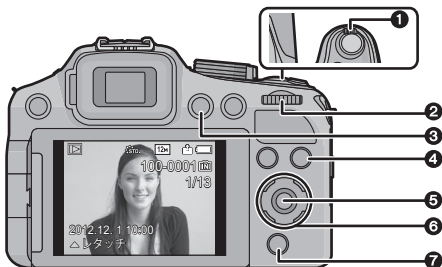
[]: 画像効果を調整できます。

3 ◀/▶を押す、または後ダイヤルを回して調整する

- [ / ]を押すと、設定した値が初期設定(AUTO)に戻ります。
- カメラにおまかせで自動調整する場合は、設定を初期設定(AUTO)に戻してください。

4 [MENU/SET]または後ダイヤルを押して決定する

見る



安全上の
と注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

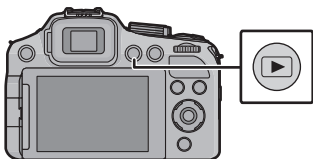
その他

① ズームレバー	[Z]/(W) 側：複数の画像を一覧表示します。 [Q]/(T) 側：画像を拡大します。
② 後ダイヤル	右に回すと、次の画像を選びます。 左に回すと、前の画像を選びます。
③ 再生ボタン	撮影と再生を切り換えます。
④ [DISP.] ボタン	押すごとに画面の表示を切り換えます。
⑤ [MENU/SET] ボタン (P25)	メニュー画面を表示します。
⑥ カーソル ボタン (P24)	 <ul style="list-style-type: none"> ▲：動画を再生します。 ▼：動画の再生を停止します。 ◀：前の画像を選びます。 ▶：次の画像を選びます。
⑦ [trash/undo] ボタン(P24)	画像を消去します。

見る(続き)

写真・動画を見る

1 [▶]を押す



2 ◀/▶で画像を選ぶ

写真再生	動画再生
ファイル番号 画像番号	動画アイコン 動画記録時間

■ 動画再生中の操作

▲ 再生/一時停止	◀ 早戻し(2段階)/コマ戻し(一時停止中)
▼ 停止	▶ 早送り(2段階)/コマ送り(一時停止中)

- 音量はズームレバーで調整できます。

画像を消去する

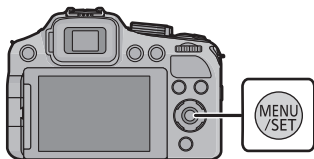
画像は一度消去すると元に戻すことができませんので、お気をつけください。

消去する画像を選び、[⏏/↶]を押す

- 確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと消去されます。

メニューを設定する

- 1 [MENU/SET] を押す
- 2 ▲/▼ でメニュー項目を選ぶ



安全上の
ご注意

準備

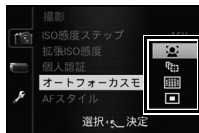
撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

- 3 ▶ を押す
 - メニュー項目によっては、設定が表示されないものや、表示のされ方が異なるものがあります。
- 4 ▲/▼ で設定内容を選ぶ
- 5 [MENU/SET] を押して決定する



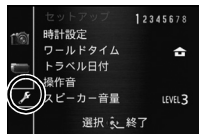
■ メニューを終了する

[MENU/SET] を押す、またはシャッターボタンを半押しする

■ 他のメニューに切り換える

例) 撮影メニューからセットアップメニューに切り換える

- 1 [MENU/SET] を押す
- 2 ◀ を押す
- 3 ▼ でセットアップメニューアイコン [🔧] を選ぶ
- 4 ▶ を押す
 - 続けてメニュー項目を選んで設定してください。



メニュー一覧

表示されるメニュー項目は、撮影モードなどにより異なります。

■ 撮影メニュー一覧 (プログラム AE モード時)

フォトスタイル	撮影したいイメージに合わせて効果を選択することができます。
画像横縦比	画像の横縦比を設定します。
記録画素数	記録画素数を設定します。
クオリティ	画像を保存するときの圧縮率を設定します。
ISO 感度上限設定	選択した数値を上限として最適な ISO 感度を設定します。
ISO 感度ステップ	ISO 感度の設定を、1/3 EV ごとの設定値に変更します。
拡張 ISO 感度	ISO 感度が [6400] まで設定できるようになります。
個人認証	登録した顔に自動で優先的にピントや露出を合わせます。
オートフォーカスモード	AF エリアを設定します。
AF スタイル	ピントの合わせ方を設定します。
クイック AF	シャッターボタンを押した際のピント合わせを速くします。
AF/AE ロック切換	AF/AE ロックの設定を切り換えます。
測光モード	明るさを測る測光方式を切り換えます。
iD レンジコントロール	コントラストや露出を自動的に補正します。
下限シャッター速度	自動で調整されるシャッター速度の下限を設定します。
超解像	より輪郭がはっきりした、解像感がある写真を撮影します。
デジタルズーム	光学ズーム、EX 光学ズーム、または iA ズームよりも、さらに拡大します。
手ブレ補正	撮影時の手ブレを感知して、カメラが自動的に補正します。
AF 補助光	暗い場所での撮影時、AF 補助光ランプを点灯させます。

フラッシュ	フラッシュを設定します。
フラッシュシンクロ	フラッシュのシンクロ方法を設定します。
フラッシュ光量調整	フラッシュの発光量を調整します。
デジタル赤目補正	フラッシュ発光での赤目を自動的に検出し、画像データを修正します。
コンバージョン	使用する別売のコンバージョンレンズを設定します。
オートブラケット	自動で明るさを変えながら複数枚撮影します。
日付焼き込み	撮影日時入りの写真を撮影します。
時計設定	年・月・日・時刻を設定します。

■ 動画撮影メニュー一覧 (プログラム AE モード時)

撮影モード	記録する動画のファイル形式を設定します。
画質設定	記録する動画の画質を設定します。
AF 連続動作	ピントを合わせ続けます。
風音低減	風雑音を判別して記録しにくくします。
ズームマイク	ズーム操作に連動して音声を記録します。

■ 再生モードメニュー一覧

2D/3D 切換	3D 画像の再生方法を切り換えます。
通常再生	画像を再生します。
スライドショー	画像の種類などを選んで、順番に再生します。
絞り込み再生	写真、動画など、画像を分類して再生します。
カレンダー検索	撮影した日付ごとに画像を表示させることができます。

メニュー一覧(続き)

■ 再生メニュー一覧

WEBアップロード設定	画像共有サイトへアップロードする画像を設定します。
タイトル入力	撮影した写真に文字(コメント)を入力します。
文字焼き込み	撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込みます。
動画分割	撮影した動画を2つに分割します。
リサイズ(縮小)	画像のサイズ(記録画素数)を小さくします。
トリミング(切抜き)	撮影した写真の必要な部分を切り抜きます。
傾き補正	撮影した写真の微妙な傾きを修正します。
お気に入り	マークを付けて、お気に入り画像に設定します。
プリント設定	プリントする画像や枚数などを設定します。
プロテクト	画像を誤って消去することがないように保護します。
認証情報編集	個人認証に関する情報の解除や入れ換えをします。
画像コピー	撮影した画像データをコピーします。

■ セットアップメニュー一覧

時計設定	年・月・日・時刻を設定します。
ワールドタイム	お住まいの地域と海外などの旅行先の時刻を設定します。
トラベル日付	旅行の出発日と帰着日を設定したり、旅行先の名前を設定します。
操作音	操作音やシャッター音を設定します。
スピーカー音量	スピーカーの音量を設定します。
カスタムセット登録	現在のカメラの設定内容をカスタムセットとして登録します。
AF/AE LOCK/Fn2	[AF/AE LOCK]/[Fn2] ボタンに、AF/AE ロック または Fn2(ファンクションボタン)を割り当てます。
Fn ボタン設定	ファンクションボタンに割り当てる機能を設定します。
サイドレバー設定	サイドレバーの機能を切り換えます。
液晶調整 /EVF 調整	液晶モニター/ファインダーの明るさや色合いなどを調整します。

液晶モード	明るい場所などで液晶モニターを見やすくします。
EVF 表示スタイル	ファインダーの表示方法を設定します。
LCD 表示スタイル	液晶モニターの表示方法を設定します。
ガイドライン表示	ガイドラインのパターンを設定します。
ヒストグラム表示	ヒストグラムを表示します。
動画記録枠表示	動画撮影時の画角を表示します。
残量表示切換	記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。
ハイライト表示	再生時、白飛びの起こっている部分を表示します。
露出メーター	露出メーターを表示します。
レンズ位置メモリー	電源を切ったときのズーム位置や MF 位置を記憶します。
MF アシスト	ピント合わせのときに MF エリアを拡大表示します。
エコモード	本機の電力消費を抑えたり、バッテリーの消耗を防ぎます。
モニター優先	再生時、自動で液晶モニター表示に切り換えます。
オートレビュー	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
番号リセット	画像のファイル番号を 0001 に戻します。
設定リセット	設定をお買い上げ時の状態に戻します。
USB モード	USB 接続ケーブル(付属)接続時の通信方式を設定します。
映像出力	テレビへの出力方式を設定します。
ピエラリンク	ピエラリンク対応機器と自動的に連動させます。
3D テレビ出力	3D 写真のテレビへの出力方法を設定します。
回転表示	縦に構えて撮影した画像を縦向きに回転して表示します。
シーンメニュー	シーンモードに切り換えたときに表示される画面を設定します。
メニュー位置メモリー	最後に操作したメニュー項目の選択位置を記憶します。
バージョン表示	本体のファームウェアバージョンを表示します。
フォーマット	内蔵メモリーまたはカードを初期化します。
デモモード	[手ブレ補正デモ] や本機の特長を表示します。

付属のソフトウェアを使う

付属のCD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。
パソコンにインストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 8.3 PE (Windows XP/Vista/7)

写真や動画をパソコンに取り込んだり、撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理することができるソフトウェアです。さらに、DVDへの画像の書き込みや、加工、画像補正、動画の編集などもできます。

SILKYPIX Developer Studio (Windows XP/Vista/7、Mac OS X v10.4/v10.5/v10.6/v10.7)

RAWファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFF など)で保存できます。

SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイト

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/support/>
をご覧ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版(Windows XP/Vista/7)

LoiLoScopeは、お手持ちのパソコンをフル活用する、かんたんに動画編集できるソフトウェアです。今までになかった机の上でカードを並べるようにして作るアナログ操作は、覚えることなく初めてでも思いのままに操作し、DVD、Webサイト、メール等々を使い、すばやく動画や写真を友達に届けることができます。

- インストールされるのは、体験版ダウンロードサイトへのショートカットのみになります。
- LoiLoScopeの詳しい使い方は、以下のサイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。

使い方Webサイト：<http://loilo.tv/product/20>

ソフトウェアをインストールする

- CD-ROMを入れる前に、他の起動中のアプリケーションソフトをすべて終了してください。

1 お使いのパソコンの環境を確認する

- 「PHOTOfunSTUDIO 8.3 PE」の動作環境

対応OS	Windows® XP(32 bit) SP3 Windows Vista®(32 bit) SP2 Windows® 7(32 bit/64 bit)およびSP1	
CPU	Windows® XP	Pentium® III 500 MHz以上
	Windows Vista®	Pentium® III 800 MHz以上
	Windows® 7	Pentium® III 1 GHz以上
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)	
搭載メモリ	Windows® XP	512 MB以上
	Windows Vista®	
	Windows® 7	1 GB以上(32 bit) 2 GB以上(64 bit)
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量	

その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF)をお読みください。

- 「SILKYPIX Developer Studio 3.1 SE」の動作環境は、30 ページのサポートサイトをお読みください。

2 CD-ROMを入れる

- インストールメニューが起動します。

3 [アプリケーション]をクリックする

4 [おまかせインストール]をクリックする

- 画面のメッセージに従ってインストールを進めてください。

お知らせ

- お使いのパソコンに対応したソフトウェアのみがインストールされます。
- 「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使えません。
- Macでは、SILKYPIXを手動でインストールすることができます。

- ① CD-ROMを入れる
- ② CD-ROMの「Application」フォルダーをダブルクリックする
- ③ 自動で表示されるフォルダーをダブルクリックする
- ④ フォルダー内にあるアイコンをダブルクリックする

別売品のご紹介

品名	品番
バッテリーパック	DMW-BLC12
バッテリーチャージャー※ ¹	DMW-BTC6
DCカプラー※ ²	DMW-DCC8
ACアダプター※ ²	DMW-AC8
シャッターリモコン	DMW-RSL1
ステレオマイクロホン	DMW-MS1
フラッシュライト	DMW-FL220
	DMW-FL360
	DMW-FL500
ソフトケース	DMW-CZS100
ソフトバッグ	DMW-CZ18
MCプロテクター	DMW-LMC52
NDフィルター	DMW-LND52
PLフィルター(サーキュラータイプ)	DMW-LPL52
AVケーブル	DMW-AVC1
HDMIミニケーブル	RP-CDHM15
	RP-CDHM30
USB接続ケーブル	DMW-USBC1
レンズアダプター	DMW-LA7
テレコンバージョンレンズ※ ³	DMW-LT55
クローズアップレンズ※ ³	DMW-LC55

※¹ 海外用変換プラグ(Cタイプ)付き

※² DCカプラー(別売)とACアダプター(別売)は、必ずセットでお買い求めください。
単独では使用できません。

※³ 本機に取り付けるにはレンズアダプター(DMW-LA7)が必要です。

記載の品番は2012年7月現在のもので、変更されることがあります。

CLUB Panasonic

Pana Sense



別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお
買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

携帯電話からもお買い求めいただけます。

<http://p-mp.jp/cpm/>

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源	DC 8.4 V
消費電力	1.7 W(液晶モニター撮影時) 1.6 W(ファインダー撮影時) 1.1 W(液晶モニター再生時) 1.0 W(ファインダー再生時)

カメラ有効画素数	1210万画素
撮像素子	1/2.3型 MOSセンサー 総画素数 1280万画素、 原色カラーフィルター
レンズ(ナノサーフェスコーティングあり)	光学24倍ズーム f=4.5 mm~108 mm (35 mmフィルムカメラ換算: 25 mm~600 mm) W 端時: F2.8 ~ F8.0(動画撮影時:F2.8 ~ F11) T 端時: F2.8 ~ F8.0(動画撮影時:F2.8 ~ F11)
手ブレ補正	光学式
撮影範囲	AF:30 cm(W 端時)/2 m(T 端時)~∞ AF マクロ/MF/インテリジェントオート/動画: 1 cm(W 端時)/1 m(T 端時)~∞ シーンモード:上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム	電子シャッター連動メカニカルシャッター
最低被写体照度	約9 lx(iローライト時、シャッタースピード 1/30 秒)
シャッタースピード	60秒~1/4000秒
露出	プログラムAE(P)、絞り優先AE(A)、 シャッター優先AE(S)、マニュアル露出(M)
測光方式	マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光
液晶モニター	3.0 型 TFT 液晶(3:2)(約46.1 万ドット)(視野率 約100%)
ファインダー	カラー液晶ビューファインダー(約131.2万ドット相当) (視野率約100%)(視度調整付き -4~+4diopter)
フラッシュ	内蔵ポップアップ式
マイク	ステレオ
スピーカー	モノラル
記録メディア	内蔵メモリー(約70 MB)/SDメモリーカード/ SDHCメモリーカード/SDXCメモリーカード

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

仕様(続き)

記録画像ファイル形式 写真	RAW/JPEG(DCF準拠、Exif2.3準拠、DPOF対応)/ MPO
動画	AVCHD/MP4
音声圧縮方式	AVCHD: Dolby® Digital(2ch) MP4: AAC(2ch)
インターフェース デジタル アナログビデオ オーディオ	USB 2.0(High Speed) NTSCコンポジット オーディオライン出力(モノラル)
端子 MIC/REMOTE AV OUT/DIGITAL HDMI	Ø2.5 mm ジャック 専用ジャック(8pin) miniHDMI Cタイプ
寸法	約幅125.2 mm×高さ86.6 mm×奥行き110.2mm (突起部除く)
質量	約588 g(カード、バッテリー含む) 約537 g(本体)
推奨使用温度	0℃～40℃
許容相対湿度	10%RH～80%RH
言語切り換え	なし(日本語のみ)

専用バッテリーチャージャー: DE-A79A

定格入力	100 V—240 V 50/60 Hz
入力容量	14 VA(100 V)—22 VA(240 V)
定格出力	DC 8.4 V 0.65 A

リチウムイオンバッテリーパック: DMW-BLC12

電圧 / 容量	7.2 V/1200 mAh
---------	----------------

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークはEU域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製(コピー)したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[MENU/SET]を押して[セットアップ] → [バージョン表示]を表示し、[MENU/SET]を押してご覧ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または、登録商標です。
- “AVCHD Progressive”、“AVCHD”および“AVCHD Progressive”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™は商標です。
- WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

安全上の注意

準備

撮る・見る

メニュー設定

パソコンとの接続

その他

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC規格に準拠する動画(以下、AVCビデオ)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオを再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVCビデオを再生する場合
詳細については米国法人MPEG LA, LLC(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページ
をご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.net/hp>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。



充電式

リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20




この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 付属のUSB接続ケーブルまたは、当社製USB接続ケーブル(別売:DMW-USBC1)以外は使用しないでください。
- 当社製AVケーブル(別売:DMW-AVC1)をお使いください。
- 当社製HDMIミニケーブル(別売:RP-CDHM15、RP-CDHM30)をお使いください。
- ケーブルは延長しないでください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。
---	--------------	---	------------------

危険



バッテリーパック※は、誤った使いかたをしない
(※以降は、「バッテリー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。

- 指定外のものは使わない
- 分解や加工(はんだづけなど)、加圧、加熱(電子レンジやオーブンなどで)しない
- 水などの液体や火の中へ入れたりしない
- 炎天下(特に真夏の車内)など、高温になるところに放置しない
- 端子部(⊕・⊖)に金属を接触させない
- バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

危険



バッテリーチャージャー※は、本機専用のバッテリーにのみ使用する(※以降は、「チャージャー」と表記)

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



バッテリーは、正しく使う

指定以外の充電器で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。

- 専用のチャージャーで充電する

警告



異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 映像や音が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体やチャージャーが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- ・ チャージャーを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- ・ 電源を切り、販売店にご相談ください。



分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

警告



電源プラグは、正しく扱う

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく(ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります)
- 根元まで確実に差し込む
- 接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しない



チャージャーは、誤った使いかたをしない

感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外(交流100V～240V以外)で使わない
- ぬれた手で抜き差ししない



内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

安全上の
注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

警告



乗り物の運転中に使わない

事故の誘発につながります。

- 歩行中も、周囲や路面の状況に十分注意する



運転者などに向けてフラッシュを発光しない

事故の誘発につながります。



電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど※の原因になります。

長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない

火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない



雷が鳴ったら、触れない

感電の原因になります。

接触禁止

- 本体やチャージャーには、金属部があります。

警告



ショルダーストラップは肩に掛けて使う

けがや事故の原因になります。

- 首に掛けての使用はしない



ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かない

誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。

注意



フラッシュ発光部およびAF補助光は、至近距離で直接見ない

誤って発光した場合、視力障害などの原因になることがあります。



フラッシュを人の目に近づけて発光しない

視力障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m以上離してください。



フラッシュの発光部分を直接手で触らない・ごみなどの異物が付いたまま使わない・テープなどでふさがない

やけどの原因になることがあります。

発光熱によって煙などが出る原因になることがあります。

- 発光直後は、しばらく触らないでください。



病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

注意



次のような場所に放置しない

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



次のときは、バッテリーを取り出す

バッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき



レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない

集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。



レンズキャップやひもを持って、本機をぶら下げたり、振り回したりしない

ひもが切れて本機が落下し、けがや破損の原因になることがあります。

注意

安全上の
注意

3Dの視聴について



光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D撮影画像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。



■ 近視や遠視の人、左右の視力が異なる人や乱視の人は視力矯正めがねの装着などにより、視力を適切に矯正する

■ 3D撮影画像の視聴中に、はっきりと二重に像が見えたら視聴を中止する

- 3D撮影画像の見えかたには個人差があります。視力を適切に矯正したうえで3D撮影画像をご覧ください。
- テレビの3D設定や本機の3D出力設定を2Dに切り換えることもできます。



3D撮影画像を視聴する場合は、30～60分を目安に適度な休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。



3D撮影画像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなる場合があります。

- お子様をご視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
の接続

その他

保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名					
電話	()	—		
お買い上げ日		年	月	日	

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q & A 故障かな?と思ったら」(取扱説明書 詳細操作編)でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

●製品名	デジタルカメラ
●品番	DMC-FZ200
●故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

(但し、CD-ROM内のソフトウェアの内容は含みません)

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック LUMIX(ルミックス)ご相談窓口 365日
受付9時~20時

電話 フリー
ダイヤル



0120-878-638

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 宅配修理サービスのご案内

(Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

■ お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。

(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

会員サイト「CLUB Panasonic」で「**ご愛用者登録**」をしてください

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯



※このサービスはWEB限定のサービスです。

愛情点検

長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状はありませんか

- ・ 煙が出たり、異常なおいや音がする
- ・ 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- ・ 内部に水や異物が入った
- ・ 本体やチャージャーが破損した
- ・ その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

保証とアフターサービス(よくお読みください)(続き)

地域窓口へ直接お持ち込みされる場合は、ホームページにて
地図を掲出しております。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

■ 各地域の 修理ご相談窓口

※電話番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道 地区	札幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	
	旭川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166	
	帯広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3	
	函館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗町589-241	
東北地区	青森	☎(0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1	
	秋田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1	
	岩手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43	
	宮城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18	
	山形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75	
	福島	☎(024)991-9308	郡山市備前館2丁目5	
	栃木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	
首都圏 地区	群馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1	
	茨城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3	
	埼玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2	
	川口	☎(048)297-7820	川口市戸塚2丁目23-20	
	千葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5	
	東京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮城2丁目26-17	
	秋葉原	☎(03)3251-4616	千代田区外神田1丁目8-1 第三電波ビル	
	国分寺	☎(042)328-3211	国分寺市東戸倉2丁目38-1	
	山梨	☎(055)222-5822	中央市山之神通団地1-5-1	
	神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16	
	新潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14	
	中部地区	石川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉦2丁目266番地
		富山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福井		☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14	
長野		☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11	
静岡		☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24	
愛知		☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	
岐阜		☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42	
三重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421		

近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
	吹田	☎ (06)6338-1241	吹田市春日3丁目20-6
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
九州地区	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
九州地区	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。

<http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html>

0612

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

安全上の
ご注意

準備

撮る・見る

メニュー
設定

パソコン
との接続

その他

● 使いかた・お手入れ・修理に関するご相談は

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://panasonic.co.jp/cs/>

パナソニック LUMIX (ルミックス) ご相談窓口 365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-638**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■ FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

● 宅配修理サービスのご案内 (Web サイトからもお申し込みいただけます)

パナソニック 修理サービスサイト

<http://lumix.jp/repair/>

インターネットでのご依頼も可能です。

- お申込みいただいた修理依頼に基づき当社指定の宅配業者が修理依頼品をお引取りにお伺いし、修理が完了した後に修理品をご自宅までお届けするサービスです。
(このサービスをご利用の場合、別途宅配費用がかかります)

ご使用の回線 (IP電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

QuickTimeおよびQuickTimeロゴは、ライセンスに基づいて
使用されるApple Inc.の商標または登録商標です。



パナソニック株式会社 AVC ネットワークス社

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2012